



第 55 回(2024 年度)地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました (2024/11/16 ~ 11/17)

場所：静岡県地震防災センター

参加者：佐藤翔輔准教授，渡邊勇（D3），成田峻之輔（D1），三上雄大（M1），星美沙希（B4）

令和 6 年 11 月 16 日（土）～11 月 17 日（日）の 2 日間，静岡県地震防災センターで地域安全学会の秋季研究発表会が開催されました。地域安全学会は，研究者，技術者，国や地方自治体の実務者などが協力しあい，自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究室からは 4 編の査読論文（うち筆頭著者 3 編），4 編の一般論文の研究発表を行いました。また，当研究室卒業生の長谷川さん（2017 年度博士前期課程修了）も査読論文を発表いたしました。なお，星（B4）が論文奨励賞に内定いたしました。同賞は，優れた査読論文発表（指導を受ける立場にある原則 40 歳未満の筆頭著者が対象）に対して贈られる賞で，今年は合計 2 名が選出されました。

【査読論文】（下線は当研究室メンバー）

- 佐藤翔輔，渡邊勇，今村文彦：東日本大震災に関連した震災伝承施設に存在する全コンテンツの分類とその傾向分析：東北地域における震災伝承施設の悉皆調査を通して
- 三上雄大，佐藤翔輔，成田峻之輔，千葉智史，岡本徹，今村文彦：津波避難行動分析における歩行型 VR 活用の可能性：バルーン型避難標識の誘導効果に着目して
- 星美沙希，佐藤翔輔，今村文彦：津波避難の阻害・促進要因の体系的整理および大雨災害との比較：東日本大震災発生以後の既往研究の系統的レビューから **地域安全学会論文奨励賞**
- 長谷川夏来（津波研修了生），長谷部雅伸，河上展久，鳥山亜紀，小倉裕之，佐山敬洋，角哲也：病院の水害タイムライン向け水位ハイドログラフ想定手法の提案
- 秋元康男，佐々木一人，坪井優太，佐々木紗和，佐藤翔輔：自治体職員の避難所運営に関する経験の伝承手法の設計と実践：宮城県気仙沼市における災害記録資料を活用した座学と対話による研修事例

【一般論文】（下線は当研究室メンバー）

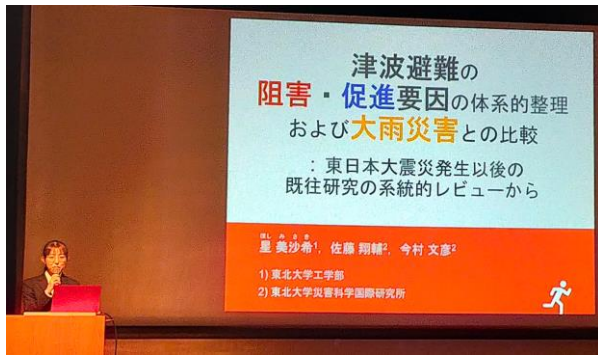
- 渡邊勇，佐藤翔輔，今村文彦：震災伝承施設の見学パターンと意識・行動変容効果の関係：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の事例
- 成田峻之輔，佐藤翔輔，三上雄大，千葉智史，岡本徹，今村文彦：津波避難場所表示媒体の効果に関する VR 空間での避難行動実験：バルーン型避難標識の確立に向けて
- 松川杏寧，郷右近英臣，落合努，畠山久，杉安和也，寅屋敷哲也，河本尋子，川見文紀，折橋祐希，佐藤翔輔：地域安全学会夏の学校 2024—基礎から学ぶ防災・減災—地域安全学領域における若手人材育成 その 8
- 後藤隆昭，浦山駿，佐藤翔輔：東日本大震災・原子力災害の伝承活動の持続的展開に関する課題と方策



佐藤翔輔准教授の研究発表



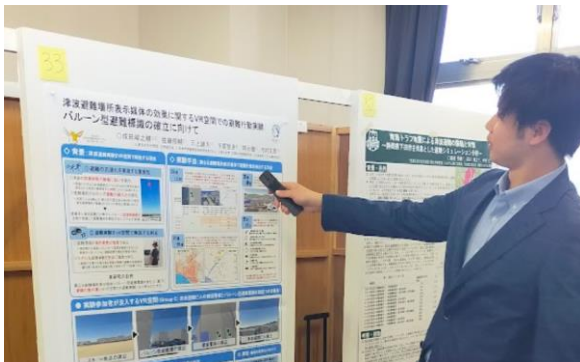
三上 (M1) の研究発表



星 (B4) の研究発表



渡邊 (D3) のポスター発表



成田 (D1) のポスター発表



星 (B4) の受賞内定時の様子

(文責：星美沙希)